

O01 口頭発表

第1日 (11月9日) 9:30 ~ 10:30

9号館地下2階 9B21

文化・社会1

座長 膳場 百合子

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| O0101 | 9:30 ~ 9:45
「冷たい日本人」と「お節介なアメリカ人」？
見知らぬ他者への援助行動の文化比較 | ○新谷 優
Caitie Handron
Hazel Markus | 法政大学
Stanford University
Stanford University |
| O0102 | 9:45 ~ 10:00
AIがもたらした結果に対する責任判断
日本人とアメリカ人の比較 | ○膳場 百合子
Maia Young | 早稲田大学
カリフォルニア大学アーバイン校 |
| O0103 | 10:00 ~ 10:15
ポジティブ共感の文化差とその要因
—社会生態心理学による関係流動性の効果の検討— | ○奥山 新斗
結城 雅樹 | 北海道大学
北海道大学 |

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| O0201 | 9:30 ~ 9:45
党派的な選択的接触の一般化可能性
日本・香港・アメリカの比較研究 | ○小林 哲郎 | 香港城市大学 |
| O0202 | 9:45 ~ 10:00
説得納得ゲームの効果の国際比較 | ○安藤 香織
杉浦 淳吉
大沼 進
Kim-Pong Tam
Gundula Hübner
安達 菜穂子 | 奈良女子大学
慶應義塾大学
北海道大学
香港科技大学
Martin-Luther-University Halle-Wittenberg
大阪市立大学 |
| O0203 | 10:00 ~ 10:15
Galton問題に対する統計モデリングアプローチ
集団主義と病原菌ストレスの関係を例に | ○清水 裕士
竹村 幸祐 | 関西学院大学
滋賀大学 |

O03 口頭発表

第1日 (11月9日) 9:30 ~ 10:30

9号館地下2階 9B23

対人コミュニケーション1

座長 片桐 恵子

- | | | | |
|-------|---|--------------------------|----------------------|
| O0301 | 9:30 ~ 9:45
道徳的信念の共有は自動運転自動車への信頼を高めるのか | ○横井 良典
中谷内 一也 | 同志社大学
同志社大学 |
| O0302 | 9:45 ~ 10:00
勤勉因子を新たに含む道徳因子モデルの再検討 | ○山縣 芽生
綿村 英一郎
寺口 司 | 大阪大学
大阪大学
大阪大学 |
| O0303 | 10:00 ~ 10:15
人々はなぜクラウドファンディングをするのか | ○片桐 恵子
木村 拓真 | 神戸大学
神戸大学 |

O04 口頭発表

第1日 (11月9日) 9:30 ~ 10:30

9号館地下1階 9B12

ライフスタイル

座長 吉良 文夫

- | | | | |
|-------|---|-------------------------|--|
| O0401 | 9:30 ~ 9:45
ケータイ・スマホ利用のライフスタイル研究 (1)
—ながら使用者のライフスタイル特性— | ○吉良 文夫
飽戸 弘 | NTTドコモ モバイル社会研究所
東京大学 |
| O0402 | 9:45 ~ 10:00
ケータイ・スマホ利用のライフスタイル研究 (2)
デマンド交通意向者のライフスタイル特性 | ○水野 一成
飽戸 弘 | NTTドコモ モバイル社会研究所
東京大学 |
| O0403 | 10:00 ~ 10:15
ケータイ・スマホ利用のライフスタイル研究 (3)
小中学生のICT利用のライフスタイル特性 | ○栗原 俊介
吉良 文夫
飽戸 弘 | NTTドコモ モバイル社会研究所
NTTドコモ モバイル社会研究所
東京大学 |

対人コミュニケーション2

座長 高岸 治人

O0501	9:30 ~ 9:45 対人関係におけるオキシトシンの役割 (1) 一般的信頼と社会的用心との関連	○寿 秋露 山田 順子 仁科 国之 松永 昌宏 高岸 治人	玉川大学 玉川大学 高知工科大学 愛知医科大学 玉川大学
O0502	9:45 ~ 10:00 対人関係におけるオキシトシンの役割 (2) 社会的ネットワークとの関連	○山田 順子 寿 秋露 仁科 国之 松永 昌宏 高岸 治人	玉川大学 玉川大学 高知工科大学 愛知医科大学 玉川大学
O0503	10:00 ~ 10:15 唾液中オキシトシン濃度と関連する安静時機能的結合	○高岸 治人 寿 秋露 山田 順子 松永 昌宏 田中 大貴 松田 哲也	玉川大学 玉川大学 玉川大学 愛知医科大学 玉川大学 玉川大学

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| O0601 | 14:00 ~ 14:15
文化適応が日本式モラル価値観に与える影響
日本の大学に在学する留学生を対象として | ○高松 礼奈
May Cho Min
Wenzhen Xu
Lina Wang
高井 次郎 | 神戸学院大学
Yangon University of Education
KDDI総合研究所
名古屋大学
名古屋大学 |
| O0602 | 14:15 ~ 14:30
宗教的信念と文化伝達：
International Social Survey Programmeデータによる
Gervais & Najle (2015) の事前登録済み追試 | ○石井 辰典
渡邊 克巳 | 早稲田大学
早稲田大学 |
| O0603 | 14:30 ~ 14:45
適応論的視点にもとづく「協調性」の分析
社会レベルでの排除回避と調和追求および個人主義-
集団主義の相関 | ○橋本 博文
山岸 俊男
James H. Liu | 安田女子大学
一橋大学
Massey University |

O07 口頭発表

第1日 (11月9日) 14:00 ~ 15:00

9号館地下2階 9B22

社会的認知1

座長 北村 英哉

- | | | | |
|-------|--|-----------------|-------------------|
| O0701 | 14:00 ~ 14:15
柔らかいものに触れていることによって生じる期待の増加は社会的文脈に特有なのか？
—Cyberball 課題を用いた検討— | ○池田 利基
武田 裕司 | 筑波大学
産業技術総合研究所 |
| O0702 | 14:15 ~ 14:30
清浄志向／ケガレ忌避傾向とケガレ関連刺激への潜在態度との関連
— AMPを用いた検討— | ○北村 英哉
松尾 朗子 | 東洋大学
名古屋大学 |
| O0703 | 14:30 ~ 14:45
社会的排斥の目撃者における罪悪感および共感性と被排斥者への援助行動意図との関連 | ○津村 健太 | 帝京大学 |

O08 口頭発表

第1日 (11月9日) 14:00 ~ 15:00

9号館地下2階 9B23

ストレス・不適応1

座長 金政 祐司

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| O0801 | 14:00 ~ 14:15
消防職員配偶者が抱えるストレスの検討 | ○秋本 陽子 | 筑波大学・東京消防庁 |
| O0802 | 14:15 ~ 14:30
学生の主観的ソーシャル・キャピタルと精神的不健康の関連：
3年間の縦断調査による検討 | ○芳賀 道匡
笹川 修
小平 英志
中村 信次
山崎 喜比古
近藤 克則 | 日本大学
日本福祉大学
日本福祉大学
日本福祉大学
日本福祉大学
千葉大学 |
| O0803 | 14:30 ~ 14:45
愛着不安ならびにDTが夫婦間の間接的暴力に及ぼす影響
～夫婦ペア縦断調査からの検討～ | ○金政 祐司
古村 健太郎
浅野 良輔 | 追手門学院大学
弘前大学
久留米大学 |

O09 口頭発表

第1日 (11月9日) 14:00 ~ 15:00

9号館地下1階 9B12

社会問題

座長 青木 俊明

- | | | | |
|-------|--|-----------------|--------------|
| O0901 | 14:00 ~ 14:15
公共政策の合意形成における謝意表明の効果 | ○菅原 優花
青木 俊明 | 東北大学
東北大学 |
| O0902 | 14:15 ~ 14:30
NIMBY 施設の社会的合意形成における可逆性導入の効果
フランスのHLW 廃棄物処分場を題材に | ○青木 俊明 | 東北大学 |
| O0903 | 14:30 ~ 14:45
Dark Triadと怒りの反すう傾向がユーモア表出形態およびシャーデンフロイデ喚起に与える影響 | ○板山 昂 | 関西国際大学 |

O10 口頭発表

第1日(11月9日) 14:00～15:00

9号館地下1階 9B13

対人コミュニケーション3

座長 田中 知恵

- | | | | |
|-------|--|------------------|----------------|
| O1001 | 14:00～14:15
グループに対する発言はいつ聞き手の態度に影響されるのか
聞き手集団の実体性が聞き手チューニングにおよぼす影響 | ○梁 庭昌
相馬 敏彦 | 広島大学
広島大学 |
| O1002 | 14:15～14:30
送り手の集団成員性が受け手の感情共有や結びつきの知覚に及ぼす影響 | ○田中 知恵
小森 めぐみ | 明治学院大学
淑徳大学 |
| O1003 | 14:30～14:45
長所の開示とその会話時間が他者軽視傾向の低減に与える影響 | ○三島 爽暉 | 立正大学 |

O11 口頭発表

第1日 (11月9日) 17:00 ~ 18:00

9号館地下2階 9B21

文化・社会4

座長 石井 敬子

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| O1101 | 17:00 ~ 17:15
集団サイズ増加による技術の累積的進化
論理回路の進化シミュレーションを通じた検討 | ○須山 巨基
佐藤 浩輔 | 明治学院大学・慶應義塾大学
明治大学 |
| O1102 | 17:15 ~ 17:30
Cultural difference of attributing individual contribution
in workplace contexts | ○Aya Uchida
Masataka Nakayama
Yukiko Uchida | Kyoto University
Kyoto University
Kyoto University |
| O1103 | 17:30 ~ 17:45
非言語的な手段による文化的価値の産出 | ○石井 敬子
大石 繁宏 | 名古屋大学
コロンビア大学 |

O12 口頭発表

第1日 (11月9日) 17:00 ~ 18:00

9号館地下2階 9B22

リスク認知

座長 中谷内 一也

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| O1201 | 17:00 ~ 17:15
無知のヴェールによる手続きの公正さが社会的受容に及ぼす効果
高レベル放射性廃棄物地層処分候補地選定に関するシナリオ実験 | ○大沼 進
横山 実紀
広瀬 幸雄
大澤 英昭
大友 章司 | 北海道大学
北海道大学
関西大学
日本原子力研究開発機構
甲南女子大学 |
| O1202 | 17:15 ~ 17:30
様々なことがらに対する人びとの不安は年々高まっているのか
2008年から2019年にわたる4次の全国無作為抽出標本調査より | ○中谷内 一也 | 同志社大学 |
| O1203 | 17:30 ~ 17:45
曖昧さへの不耐性がリスク認知におよぼす効果 | ○土田 昭司
浦山 郁
静間 健人 | 関西大学
関西大学
関西大学 |

O13 口頭発表

第1日 (11月9日) 17:00 ~ 18:00

9号館地下2階 9B23

感情・動機1

座長 竹橋 洋毅

- | | | | |
|-------|--|-----------------------------------|------------------------------|
| O1301 | 17:00 ~ 17:15
社会経済的地位と怒り表出のメカニズム
心理的特権意識・正当性評価に注目して | ○志水 裕美
清水 裕士 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| O1302 | 17:15 ~ 17:30
社会的痛みと共感的苦痛の神経表象
自他間クロスデコーディングによる検証 | ○柳澤 邦昭
中井 隆介
浅野 孝平
阿部 修士 | 京都大学
京都大学
京都大学
京都大学 |
| O1303 | 17:30 ~ 17:45
リーダーになろうとする意志の源泉とは何か？
「責任マインドセット」という新たな概念の提案 | ○竹橋 洋毅
豊沢 純子 | 奈良女子大学
大阪教育大学 |

O14 口頭発表

第1日 (11月9日) 17:00 ~ 18:00

9号館地下1階 9B12

犯罪

座長 吉澤 寛之

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| O1401 | 17:00 ~ 17:15
反社会的行動の行動決定心的過程の時系列的な相互影響
—小中学生対象の縦断調査データを用いた検討— | ○吉澤 寛之
吉田 琢哉
浅野 良輔
玉井 颯一
吉田 俊和 | 岐阜大学
岐阜聖徳学園大学
久留米大学
高知工科大学
岐阜聖徳学園大学 |
| O1402 | 17:15 ~ 17:30
接触方略の違いが偏見低減過程に及ぼす影響：
PFI刑務所開設後の近隣住民の態度分析 | ○上瀬 由美子 | 立正大学 |
| O1403 | 17:30 ~ 17:45
加害者の処遇に対する有効性認知と更生支援活動参加意向の関係 | ○讃井 知
上市 秀雄 | 筑波大学
筑波大学 |

O15 口頭発表

第1日 (11月9日) 17:00 ~ 18:00

9号館地下1階 9B13

集団1

座長 稲葉 美里

- | | | |
|-------|--|---|
| O1501 | 17:00 ~ 17:15
Speed-accuracy tradeoff状況における二者の意思決定
プロセス | ○黒田 起吏 東京大学・日本学術振興会
伊藤 真利子 東京大学
大槻 久 総合研究大学院大学
亀田 達也 東京大学 |
| O1502 | 17:15 ~ 17:30
入れ子型社会的ジレンマにおける連結の効果とその範
囲 | ○稲葉 美里 関西大学・日本学術振興会
北梶 陽子 広島大学 |
| O1503 | 17:30 ~ 17:45
Roles of Personalization in Discrimination Among
Post-Conflict Groups
Evidence from a Behavioral Experiment in Rwanda | ○Mayuko Onuki JICA Research Institute
Keitaro Aoyagi Metrics Work Consultants Inc.
Yoshito Takasaki University of Tokyo |

O16 口頭発表

第2日 (11月10日) 9:00 ~ 10:30

9号館地下2階 9B21

対人コミュニケーション4

座長 伊藤 健彦

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| O1601 | 9:00 ~ 9:15
評価的情報とその共有可能性が向社会的行動に及ぼす影響 | ○堀 遼太郎
田中 知恵 | 明治学院大学
明治学院大学 |
| O1602 | 9:15 ~ 9:30
A few prolific liarsの再現性検証とDark Triadの影響 | ○大工 泰裕
Timothy R. Levine
Kim B. Serota | 大阪大学・日本学術振興会
University of Alabama at Birmingham
Oakland University |
| O1603 | 9:30 ~ 9:45
関係流動性が英語コミュニケーションの態度に与える影響 | ○伊藤 健彦 | 東洋大学 |
| O1604 | 9:45 ~ 10:00
ローカルな相互作用による限界質量モデルの妥当性検討
教室における実際の位置関係を反映させたシミュレーション | ○出口 拓彦 | 奈良教育大学 |
| O1605 | 10:00 ~ 10:15
自他のパーソナルスペースが人と人の間の通り抜け行為に与える影響 | ○友野 貴之
牧野 遼作
古山 宣洋
三嶋 博之 | 早稲田大学
早稲田大学
早稲田大学
早稲田大学 |

O17 口頭発表

第2日 (11月10日) 9:00 ~ 10:15

9号館地下2階 9B22

社会的認知2

座長 浅井 暢子

- | | | | |
|-------|---|-------------------------|--------------------------|
| O1701 | 9:00 ~ 9:15
不況の知覚とゼロサム信念が内集団の広さに及ぼす影響 | ○竹部 成崇
中島 健一郎 | 大妻女子大学
広島大学 |
| O1702 | 9:15 ~ 9:30
「個か集団か」のジレンマとインクルーシブ教育に対する態度
学校教員の医学モデル観と社会モデル観を媒介要因とする分析 | ○前田 楓
橋本 博文
佐藤 剛介 | 安田女子大学
安田女子大学
高知大学 |
| O1703 | 9:30 ~ 9:45
行為者の識別可能性と集団実体性知覚および無差別報復との関連 | ○澤田 昂大
五十嵐 祐 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O1704 | 9:45 ~ 10:00
本質主義的信念と外集団間認知
集団間の遺伝的・環境的類似性に関する情報の効果 | ○浅井 暢子 | 京都文教大学 |

O18 口頭発表

第2日 (11月10日) 9:00 ~ 10:30

9号館地下2階 9B23

集団2

座長 福島 慎太郎

- | | |
|---|---|
| <p>O1801 9:00 ~ 9:15
ボランティアのジレンマにおける公正感受性の正の影響と負の影響
「誰かがやらなければいけない」状況での行動意思の個人差</p> | <p>○ターン 有加里ジェシカ 東京大学
橋本 剛明 東京大学
唐沢 かおり 東京大学</p> |
| <p>O1802 9:15 ~ 9:30
一般的信頼と信頼行動の関連
信頼ゲームと分配委任ゲームを用いた検討</p> | <p>○仁科 国之 高知工科大学
三船 恒裕 高知工科大学</p> |
| <p>O1803 9:30 ~ 9:45
罰則システムは協力行動のCrowding-out現象をもたらす</p> | <p>○金 恵璘 東京大学
内藤 碧 東京大学
犬飼 佳吾 明治学院大学
亀田 達也 東京大学</p> |
| <p>O1804 9:45 ~ 10:00
信頼の二面性
—集団レベルのコミュニティ信頼は幸福を低下させる—</p> | <p>○福島 慎太郎 東京女子大学
竹村 幸祐 滋賀大学
内田 由紀子 京都大学
浅野 悟史 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
奥田 昇 総合地球環境学研究所</p> |
| <p>O1805 10:00 ~ 10:15
罰に対する感受性と協力の進化</p> | <p>○土田 修平 北海道大学
竹澤 正哲 北海道大学</p> |

O19 口頭発表

第2日 (11月10日) 9:00 ~ 10:30

9号館地下1階 9B12

感情・動機2

座長 中山 真孝

- | | | |
|-------|--|--|
| O1901 | 9:00 ~ 9:15
日本における「Awe」の意味
恐れと敬いとのかの弁別性の検証 | ○中山 真孝 京都大学
内田 由紀子 京都大学 |
| O1902 | 9:15 ~ 9:30
日本人における感動とaweの重複と弁別性
ラベル付けと感情経験の2つの観点からの検討 | ○前浦 菜央 京都大学
中山 真孝 京都大学
内田 由紀子 京都大学 |
| O1903 | 9:30 ~ 9:45
ポジティブ状況における羞恥感情の文化差
—関係流動性の役割に関する社会生態心理学的分析— | ○前田 友吾 北海道大学
結城 雅樹 北海道大学 |
| O1904 | 9:45 ~ 10:00
恩恵受領についての事前予測が感謝に及ぼす影響
思いがけず貰えるギフトこそありがたいのか | ○山本 晶友 上智大学
樋口 匡貴 上智大学 |
| O1905 | 10:00 ~ 10:15
心のゆとりが対人関係に及ぼす影響：
ペアデータを用いた検討 | ○小林 亮太 広島大学・日本学術振興会
宮谷 真人 広島大学
中尾 敬 広島大学 |

組織・産業1

座長 池内 裕美

- | | | | |
|-------|---|-----------------|----------------------------------|
| O2001 | 9:00 ~ 9:15
能力格差と課題タイプが集団パフォーマンスに及ぼす影響
企業組織データを用いた分析 | ○仲間 大輔
竹村 幸祐 | 東京大学・リクルートマネジメントソリューションズ
滋賀大学 |
| O2002 | 9:15 ~ 9:30
危機に対応するリーダーの選択
グラス・クリフ効果と作動性リーダー | ○小久保 みどり | 立命館大学 |
| O2003 | 9:30 ~ 9:45
福祉サービスにおける苦情対応の実態と感情労働の特性
感情的知性および主観的ストレスとの関係性に注目して | ○池内 裕美 | 関西大学 |
| O2004 | 9:45 ~ 10:00
感情労働がワークエンゲイジメントを脅かすとき
感謝特性の媒介効果および仕事の意義の調整効果の検討 | ○池田 浩 | 九州大学 |
| O2005 | 10:00 ~ 10:15
職務経験のダイバーシティはワークエンゲイジメントを高めるか
2種類のダイバーシティ風土の機能の違い | ○正木 郁太郎 | 東京大学 |

ストレス・不適応2

座長 福島 治

- | | | | |
|-------|---|--|---|
| O2101 | 10:45 ~ 11:00
健康リスク情報に対する自己防衛反応の検討
スマホ依存傾向と健康リスク情報の提示が他者のスマホ
使用時間の推測に及ぼす影響 | ○下田 俊介
下田 麻衣 | 東洋大学
立正大学 |
| O2102 | 11:00 ~ 11:15
Twitterの利用は抑うつに影響するのか
Twitter利用行動と利用動機に着目して | ○田中 椋也
寶 雪 | 立命館大学
立命館大学 |
| O2103 | 11:15 ~ 11:30
対人ストレス・マインドセットと日常的な対人葛藤
葛藤経験後のネガティブ気分に対する調整効果 | ○尾崎 由佳
大久保 慧悟
雨宮 有里
高 史明
竹橋 洋毅 | 東洋大学
東洋大学・ディップ(株)
東洋大学
神奈川大学
奈良女子大学 |
| O2104 | 11:30 ~ 11:45
環境的文脈が不健康な消費行動を規定する媒介モデ
ルの検討 | ○大友 章司
濱口 郁枝 | 甲南女子大学
甲南女子大学 |
| O2105 | 11:45 ~ 12:00
混合効果位置スケールモデルによる人格特性の個人内
変動に関する自己愛と自尊心の効果の分析 | ○福島 治 | 新潟大学 |

メディア

座長 広田 すみれ

- | | | | |
|-------|---|------------------------------------|--|
| O2201 | 10:45 ~ 11:00
メディア・フレームと情報の立場性の交互作用
生活保護報道に着目した検討 | ○中越 みずき
稲増 一憲 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| O2202 | 11:00 ~ 11:15
テレビ番組のファンコミュニティ形成におけるネット利用
と心理的要因
—HTB「水曜どうでしょう」のファンへのインタビューを
元に— | ○広田 すみれ | 東京都市大学 |
| O2203 | 11:15 ~ 11:30
文化伝達の中から創発する構造
—非言語課題を用いた実験による検討— | ○中田 星矢
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学 |
| O2204 | 11:30 ~ 11:45
培養肉受容性の規定因に関する研究 | ○日比野 愛子
仲村 太志
古橋 麻衣
竹内 昌治 | 弘前大学
日清食品ホールディングス(株)
日清食品ホールディングス(株)
東京大学 |
| O2205 | 11:45 ~ 12:00
国際世論における主流形成
韓国海軍レーダー照射問題を題材として | ○稲増 一憲
小濱 祥子
多湖 淳 | 関西学院大学
北海道大学
早稲田大学 |

O23 口頭発表

第2日 (11月10日) 10:45 ~ 12:15

9号館地下2階 9B23

集団3

座長 相馬 敏彦

- | | | | |
|-------|---|-------------------------|--------------------------------|
| O2301 | 10:45 ~ 11:00
資源分配についての議論は不平等よりも不遇へ注意を向けさせるか
二者間の合意形成場面を用いた研究 | ○上島 淳史
亀田 達也 | 東京大学・日本学術振興会
東京大学 |
| O2302 | 11:00 ~ 11:15
社会ネットワーク構造はいかに集合知に寄与するか？
一時間的変動環境における検討一 | ○内藤 碧
増田 直紀
亀田 達也 | 東京大学
ブリストル大学
東京大学 |
| O2303 | 11:15 ~ 11:30
無知のヴェールは忌避施設立地問題の合意形成を促進するか
指定廃棄物処分立地ゲームを用いた公正の観点による検討 | ○横山 実紀
大沼 進
広瀬 幸雄 | 北海道大学・日本学術振興会
北海道大学
関西大学 |
| O2304 | 11:30 ~ 11:45
負の予測誤差とリスク下の意思決定の関係：
強化学習の進化モデルを用いた検討 | ○本間 祥吾
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学 |
| O2305 | 11:45 ~ 12:00
資源をもたない上司による分け隔てに害はない？
一LMX分化が部下の公正知覚を通じて情緒的コミットメントに影響するプロセス一 | ○相馬 敏彦
堀田 彩
原口 恭彦 | 広島大学
広島大学
東京経済大学 |

O24 口頭発表

第2日 (11月10日) 10:45 ~ 12:15

9号館地下1階 9B12

コミュニティ

座長 高橋 尚也

- | | |
|---|---|
| <p>O2401 10:45 ~ 11:00
社会関係資本と環境配慮行動の関連の検討
札幌市における社会調査データの分析</p> | <p>○水鳥 翔伍 北海道大学
大沼 進 北海道大学
Hommerich Carola 北海道大学</p> |
| <p>O2402 11:00 ~ 11:15
自治体広報に対する評価が市民参加に与える影響</p> | <p>○高橋 尚也 立正大学
小林 梨紗 (株)マクロミル</p> |
| <p>O2403 11:15 ~ 11:30
ポジティブな強みを活かした防災教育の実践 (3)
徳性と専門性の強みがグループ活動の成果に与える影響</p> | <p>○豊沢 純子 大阪教育大学
竹橋 洋毅 奈良女子大学
島井 哲志 関西福祉科学大学</p> |
| <p>O2404 11:30 ~ 11:45
社会参加は主観的ウェルビーイングを向上させるか
札幌市まちづくりに関する調査</p> | <p>○佐藤 和成 北海道大学
大沼 進 北海道大学
水鳥 翔伍 北海道大学
Hommerich Carola 北海道大学</p> |
| <p>O2405 11:45 ~ 12:00
119番通報の事前知識がコミュニケーションの迅速さに及ぼす効果</p> | <p>○塩谷 尚正 梅花女子大学
木村 昌紀 神戸女学院大学
北小屋 裕 京都橘大学</p> |

O25 口頭発表

第2日 (11月10日)

10:45 ~ 12:15

9号館地下1階 9B13

組織・産業2

座長 今城 志保

- | | | | |
|-------|---|---------------------------|--|
| O2501 | 10:45 ~ 11:00
主観的ウェルビーイングの適応不全を探る
日本における職業ステータス移行 | ○田中 陽平 | 東北大学 |
| O2502 | 11:00 ~ 11:15
経験からの学習プロセスを検証する
行為内リフレクションと行為に関するリフレクションの実験的検討 | ○今城 志保
藤村 直子
佐藤 裕子 | (株)リクルートマネジメントソリューションズ
(株)リクルートマネジメントソリューションズ
(株)リクルートマネジメントソリューションズ |
| O2503 | 11:15 ~ 11:30
応用演劇的手法を用いたPBL型トレーニングILTADの第3期シナリオの効果検証
—ホームレスの就労適応力の更なる向上に向けて— | ○藤本 学 | 立命館大学 |
| O2504 | 11:30 ~ 11:45
休みへの認識がリカバリー経験およびwell-beingに及ぼす影響 | ○宮川 えりか
小口 孝司 | 立教大学
立教大学 |
| O2505 | 11:45 ~ 12:00
苦勞をして獲得した内定の意味は、マインドセットで異なるのか？
暗黙の知能観と新卒入社企業に対する後悔との関連 | ○大久保 慧悟
竹橋 洋毅
尾崎 由佳 | 東洋大学・ディップ(株)
奈良女子大学
東洋大学 |